

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 大阪府立能勢高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒563-0122
大阪府豊能郡能勢町上田尻580

E-mail : nose-hs@sbox.pref.osaka.lg.jp

Website : http://www.osaka-c.ed.jp/nose

児童生徒数：男子 83 名 女子 72 名 合計 155 名
 児童・生徒の年齢 16歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（持続発展教育、グリーンツーリズム）

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

I. 1年次生「産業社会と人間」2, 3年次生「総合的な学習の時間」

・環境学習、国際理解学習、人権学習、福祉学習、グリーンツーリズム学習、地域学習

①外部講師による講演とワークショップ

②本校留学生、元本校留学生（在日大学生）による異文化理解講座

講師（協力団体）：大学教員、国際交流協会職員、市民ボランティア、地域諸施設職員、JICA、海外研修生、NGOなど。

II. 校外学習

2年次でJICA関西訪問：元協力隊員講演、JICA活動理解、異文化理解

III. マレーシア修学旅行、オーストラリア国際交流研修

・マレーシア修学旅行の準備として、交流高校（毎年同じ学校）生徒、教員とのメールのやり取り（情報交換、異文化理解）
・オーストラリア国際交流研修（任意参加）の相手校生徒とのメールのやり取り、研修後の相互訪問。本校訪問時には、授業で活用。

IV. 文化祭でのチャリティー活動・・・NGO団体とタイアップ

「モンゴルジェンダーセンター 支援」

V. 留学生の受け入れ

長期留学生1名を受け入れ、本校生徒同様の学校生活。

町民ボランティア複数による日本語指導。町民によるホームステイの受け入れ。

町内小中学校での国際交流授業に派遣。地域での交流活動に参加。

学校だけでなく、地域の国際交流に貢献。

VI. 外部での生徒によるプレゼンテーション

本校のESD、ユネスコスクール教育活動について、学校外の各発表大会において、プレゼンテーションを行い、関係者に広報活動を行った。また、地域住民に、学習内容を伝達した。

VII. ユネスコスクール世界大会 Student(高校生)フォーラム(11月6・7日)

準備セミナー 2014年5月～2014年10月(全5回)

生徒6名が参加。

VIII. 「観光甲子園」にグリーンツーリズムの実践として、生徒プロジェクトチームが、地域興しプラン提出、2年連続(H23・H24)全国大会出場。このプランの一部を、能勢町観光協会および京都新聞旅行センターと連携して、一般の方に来ていただくツアーとして実施、町おこしに貢献。(昨年度に引き続き2年目)

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（文化祭、マレーシア修学旅行、オーストラリア国際交流研修）